

参考になる  
ガレージ実例集!

ガレージングは男の夢だ!

ガレージライフ  
2023-1  
WINTER  
vol. 94

ガレージ・ライフ1月号  
第23巻第1号令和4年12月1日発売  
季刊1日発売  
(3月・6月・9月・12月)

クルマ & バイク  
趣味のガレージ実例集

茨城県境町  
ガレージハウス  
PART 2

特別付録

Garage Life 2023  
CALENDAR

2023年カレンダー

# 特集 ガレージの床仕上げ



# ガレージの床を研究する

Research The Garage Floor

ガレージを取材していると  
誰もが気にしているのが床仕上げ。  
床の仕上げ方によって、ガレージの印象が大きく変わるのだ。  
そこで気にかけてほしいのはガレージの用途だろう。  
クルマを飾るショールームのようなガレージであれば、  
石を張ったり、磨いたピカピカの床がクールだし、  
メンテナンスするのであれば、ガレージに滞在しても  
疲れの少ないクッション性のあるものがあったらいいだろう。  
そこで今回はガレージの床仕上げについて研究してみたい。

▼  
▼  
▼  
FLOOR EX  
1  
FLOOR EX  
2  
CATALOG

床仕上げの種類

クルマを飾りたい

クルマをショールームのように飾りたいのであれば、ピカピカに輝くショールームのようにタイルを張るのは悪くない。ただし、タイルの厚さに注意しないと重量のあるクルマによりクラックが入るなどのデメリットも考える必要がある。最近では大理石のような石を張る施工のほか、コンクリートを鏡面仕上げする方法などもある。1度、仕上げてしまうと大きく変更ができないのでよく吟味することが必要だ。



床仕上げの種類

コストをかけない

コストをかけたくないのであれば、モルタル施工の床に塗料メーカーから発売している専用塗料を塗るのがいいだろう。モルタルが乾燥した後に専用塗料を塗るのが基本になるだろう。プロに依頼しなくてもDIYで施工ができるのがコストダウンできる最大のメリット。ただし、きちんと施工をしないと剥がれることも考慮に入れておきたい。日本製の塗料から海外メーカーまで色も選べるのでクルマのボディカラーに合わせて施工してもいいだろう。

床仕上げの種類

カラータイル仕上げ

すでに施工してしまい、後からどうにもできないのも床仕上げの難しいところ。ところが市販されているガレージ用のカラータイルを敷くとガレージの床が大きく変更することが可能だ。ガレージのサイズに合わせてカットもできるほか、取り外して持ち運びができるのも悪くないだろう。施工後も分割ができ持ち運びもできるのもメリット。ガレージのサイズに合わせてオーダー、通通信販売などでも購入ができる。



>> ビニル床シート・カラータイル <<



シガハードプラスNW

シガハードプラスNWは耐シガレット性に加えて、耐薬品性能・ゴム汚染性能・耐へこみ性能を持つ多機能タイル。ワックスメンテナンスが不要なため、メンテナンスコストを抑えられる。●東リ



TEC Tile (テックタイル)

300mm角のポリプロピレン素材でできたアメリカ発の床材。1枚990円からと買いやすく、全11色のカラーが用意される。DIYでも施工が可能。ガレージのサイズ、クルマのボディカラーに合わせてコーディネートしたい。●TEC Tile

ノラメント

自動車やバイクのショールーム、整備エリアで活躍しているドイツ製ゴムタイル。ゴム素材の持つ柔らかい歩行感と豊富なカラー・デザイン。世界中で高い評価を受けている。●エービーシー商会



テックタイルはリフトのあるスペースに敷かれているが、将来的にはそのスペースを広げる予定も。テックタイルはグリップ性も良く掃除もしやすいのが、気に入っている点とのこと。



# FLOOR EX 1

ひとつの箱の中に、それぞれに演出を施した複数の空間を造りあげる。

茨城県・H 邸  
テックタイル

まずは箱をつくり、その中にそれぞれに趣向を凝らした趣味の空間を造りあげる。もちろんその中には、床の演出も含まれている。

Photo&text/hiroyuki-KONDO (近藤浩之)

330mm×330mm×13mm厚の四角い縦横線デザインのタイルをフロアの面積に合わせて組み合わせ、床面を演出できるテックタイル。1タイルの価格は990円で、設置にはフチの部分に合わせるエッジ(330mm×50mm、440円)、角の部分に合わせるコーナー(50mm×50mm、220円)などが必要となる。カラーは写真の他にもクリーム、グリーン、ネイビーブルーなど11パターンが用意されている。

●問い合わせ  
TECTile(テックタイル)  
(株式会社オンリースタイル)  
Phone/03-4455-7426  
<https://tec-tile.jp/>  
Mail/info@onlstyle.jp



タイルを敷いたことでリフトのアームの高さと床の距離が短くなり、車高の低いクルマもリフトに載せられるように。リフトの根元部分のタイルは、形状に合わせてHさん自身が加工。



書斎とガレージの間に存在している柱は、構造上、取り除くことができなかったもの。この柱が無ければ、もう少しスッキリしたはずだが、それでも素晴らしい眺望となっている。



ランチア・デルタHF インテグラレ16V エポルツィオーネIIは奥さまの愛機だが、かつてエポIに乗っていたWさんにとって好きなクルマでもあるので、理想的ラインナップなのだ。

# 01

GARAGE LIFE EXAMPLE  
A RESIDENCE OF Mr.W

ランチアは奥さまだけでなく  
ご主人も好きなブランドのひとつ。

左/スーパーカーブームが終焉を迎えてから生まれたWさんにとってヨーロッパは身近な存在ではなかったが、小学生のときにミニカーに触れ、電撃的に惚れ込んでしまったらしい。  
右/換気扇を完備しているが、いつもシャッターを開けて暖機運転しているのも問題ないそうだ。ちなみに、以前Wさんはランチア・イプシロン・エレファンティノロッシにも乗っていた。



ロータス・ヨーロッパSPとランチア・デルタHF インテグラレ16V エポルツィオーネIIという、紅白のスポーツカーを愛用しているWさん夫妻を雑誌で初めてご紹介する機会を得たのは2014年のことだ。

女性の年齢を書いてしまって申し訳ないが、そのときの年齢は、ご主人が34歳、奥さまが22歳であった。

初取材時にはまだご結婚しておらず、Wさんの愛車がサーキットの狼仕様にする前のヨーロッパSP、彼女だったころの奥さまの愛車が左ハンドル/マニュアルミッション仕様のフィアット・プントHGTだった。

ちなみに、Wさんは24歳のときに1971年式ロータス・ヨーロッパTCを購入し、30歳まで愛用。TCのボディカラーも白だったので、Wさんのお母さんは息子がいまでも同じクルマに乗り続けていると思っているそうだ。

まだ結婚していなかったこともあり、往時はガレージのあるご自宅は存在せず、ヨーロッパSPを保管していた貸ガレージの前で撮影してもらった。

あれから8年。ご結婚し、ガレージを設けたことが分かったので、早速お邪魔してきたのだが、クルマ好きならではのオモシロイ話をたくさん伺うことができた。「昨年の8月に結婚し、今年の4月にビルトインガ

レージのある家が完成しましたが、それまではデルタがボディカバーをかけての青空駐車、ヨーロッパが購入したスペシャルショップの貸ガレージで保管していました。結婚するよりも先に家のほうをプランニングし、土地は自分で見つけました。ここは、もともと空き地でした」。

そう話してくれたWさんによると、ガレージに関しては、ずっと前から温めていたものではなく、結婚するちょっと前に突然思い立ち、せっかく家を作るのであれば2台入れるしかないでしょ!ということでプランを練ったのだという。

そして、ガレージのある家が商品ラインナップにあるハウスメーカーにオーダーし、昨年の7月からプランニングを開始。各部の寸法を入れたエクセルのデータと本誌をサンプルとしてプレゼンし、話し合い

上/玄関ホールからもガレージ内の様子を確認できる。かつてWさんは限定250台のアルファ155 V6 LTDバージョンにも乗っていたので、アルファロメオのミニカーも飾られている。  
下/ガレージ内にテックタイルが敷かれており、個性的な空間が演出されている。これはWさんのアイデアで、本文中にも記したが、一枚だけベアできるので気に入っている。

